

詳細版プログラム（“ゴミ”本当に『ゴミ』なの？）

1. 学習のねらい(ゴミと言う課題を問いかける)

私達の日常生活の中で重要課題の一つ、『ゴミ』問題をゴミの発生から処理まで、『ゴミの一生』を総合的に学習。
『捨てない・捨てさせない・資源として回収』を学習のねらいとした。

1-1 パート1 ゴミの発生・ポイ捨て編

ゴミとは何？ ゴミはどこからどこへ？ ゴミはどんな悪さをするの？ポイ捨てした結果どうなるの？ ゴミポイ捨てが環境に及ぼす影響について学ぶ。

1-2 パート2:ゴミの資源性(資源・お宝)編

ゲームを通してゴミがどんなものに生まれ変わるか知り、ゴミの資源性を学ぶ。 『“ゴミ”本当に『ゴミ』なの？』学習を通して問いかける。

2. 学習する内容(問題を気付かせる)

パート1 ゴミの発生・ポイ捨て編

(1)漂流ゴミ問題

- ・世界的な海洋問題:海洋動物がゴミによって亡くなるなどの被害を受けている現状を知る。
- ・河川のゴミ問題:拾っても拾ってもなくなる河川ゴミについて知る。

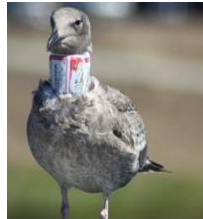
(2)ゴミポイ捨ての結果(5分)

- ・『漂流ゴミ』の問題はなぜ起きているのかを考える。
- 漂流ゴミが海洋生物に多大な被害を与えている事、そのゴミが私たち身近な場所から発生している事を学ぶ。

『ゴミの発生はポイ捨てが原因？』



海洋動物がゴミで死亡や被害を受けている現実



海岸への漂着ゴミ



七北田川河口の漂着ゴミ



仙台市が作成した下敷き、七北田川の散乱ゴミが海洋に流れ出る模式図。

漂流ゴミ問題（使用する教材）



各種資料
写真・カード・ポスター



各自持参したゴミと思われる教材


パート2 ゴミの資源性(資源・お宝)編

- ・学習に先立ち参加者に家庭から自分で「ゴミ」と思ったものを一点持参してもらおう（汚れを落として持参するようにする）。
- ・5～6名のグループに分かれる。

(1) ゴミ判別作業(5分)

- ①グループ内で持参したゴミが何故ゴミなのか持参者に発表してもらい、ゴミかどうかの判定と、その理由をワークシートに記入する。
- ②グループ毎にゴミとはどんな物で、ゴミにしない方法は何かをまとめ、発表する。(ワークシートNo. 1 参照)

(ワークシートNo. 1)

ワークシートNo. 1		皆で考えよう ゴミかなー？				
名前: _____						
どんな教材(ゴミ)?	アルミ缶 	ペットボトル 	スチール缶 	ビン類 	容器包装プラ 	その他 
それはゴミですか?	はい (ゴミです)			いいえ (ゴミではありません)		
なぜそう思いましたか?	いつもぶんべつして出している	ポイ捨てしたことない	子供会でしげんとして集めている			
	親から教えてもらった	きたくない・よごれている	いつもポイ捨てしている	いつもゴミと思っていた		
ゴミにしない方法は?	ぶんべつする	しげんとして出す	ポイ捨てしない	家にもちかえる	親にわたす	
	ゴミになるようなものはかわない					


仙台リバーズネット・梅田川監修


(2) お宝探しゲーム(25分)


- ①サイコロを振ってサイコロ面と同じものをお宝カードの中から探す。
- ②ゴミを原料として作られる物をグループ毎にワークシートに記入し、発表する。(ワークシート No.2参照)


(ワークシート No. 2)


お宝をさがしてね!


 【ペットボトル】


 【容器包装】


 【アルミ缶】


 【ビン類】


 【スチール缶・鉄類】

ランドセル	洋服	運動靴	カーペット	文房具

自動車ぶひん	フライパン	アルミ缶	アルミ罐

てっせん(鉄筋)	まどわく	レール	自動車ぶひん

マンホール	コンテナ	車止め	プランター
のふた			
パレット	さいせい	さく(機)	ごみぶくろ
	じはし		

ガラス工芸品	だんねつ村
	ぼうおん村

<きづいたこと・かんぞう>

仙台リバーズネット・梅田川

(3) 振り返り(5分)

各グループで作成した2つのワークシートを利用してゴミの資源性やゴミのポイ捨てについて考え、皆で確認し、理解する。

「こんな品物が作れる材料を捨てるの？」を合言葉に環境について学ぶ。

ゴミを通して資源性に気付かせる資料（お宝探しゲームゲーム）



サイコロ 3種類
黒・赤・黄



お宝カード:2種類

表:回収ゴミ(資源)



裏:変身後(製品)



川を模したブルーシート上に散乱ゴミと見立てたお宝カードを置く

3. 学習のポイント（環境問題に興味を持ってもらう）

（ゴミをポイ捨てすると、どんな問題がおきるのか？）（ゴミを捨てないで活用する方法は？）

3-1:環境問題に興味を持ってもらう

- ①ゴミをポイ捨てするとどんな問題が起きるのか？
- ②ゴミを捨てないで活用する方法は？
- ③皆で考えよう環境問題

3-2. 漂流ゴミによる海洋問題

『漂流ゴミ』の現場を学習する事により、ゴミが海洋生物に多大なる被害を与えている事、並びにその『漂流ゴミ』が私たち身近な場所から発生している事を気付かせる。『ゴミの発生はポイ捨てが原因？』

3-3. 回収してもなくなる川川ゴミ問題

★ 河川でのゴミ拾い:拾ってもなくなる川川ゴミ(町内会と仙台リバーズネット・梅田川との協働活動)

① 平成 28 年 7 月 17 日(河川敷内雑草刈取り後のゴミ回収)



アルミ缶:	30 本
ペットボトル:	25 本
スチール缶:	25 本
ビン類:	2 本

② 平成 28 年 10 月 16 日



アルミ缶:	24 本
ペットボトル:	20 本
スチール缶:	12 本
ビン類:	3 本
容器包装プラ:	9 枚

3-4. 振り返り

各グループで作成した 2 件のワークシートを利用して

- ①ゴミにするのもしないのも、個人の考え方・意思が大きな要因であること。
- ②大半のゴミは、多くの品物を作る材料となり、貴重な資源であること。
- ③海に流れ出たゴミは、多くの海洋動物に被害を与えている。
- ④環境問題について皆で考えること。

海洋動物を守るため、環境を守るため『ポイ捨てしない・ポイ捨てさせない・ゴミは分別して出す』事を約束しよう。皆で振り返り、そして確認する事が大事である

4. 学習のまとめ（ポイ捨てしない・ポイ捨てさせない・分別して出す・気付いた事・体験した事を実践する）

家庭における『ゴミの分別処理』は常識化されているが、公園・河川敷などに未だに放置されたゴミは後を絶たない。家庭ゴミはその処理がルール化されている。何故ルール化されているのかを気付かせることが家庭内に限らずすべてのゴミ問題のスタートと考えても良いのでは…。このプログラムは、その気づきをゴミの資源性に求め、しかも気づきで終わらず、その気づきがゴミの発生の抑制に繋がる行動に導けるようなプログラム構成とした。

《聞いたことは忘れる！ 見たことは思い出す！ 体験したことは理解する！》 人は理解しなければ行動に移らない